

# 子どもたちが 通いたくなる学校とは

従来の学校は、伝統と慣習を継承しながら教育活動を展開し、教職員の長時間労働に支えられながら成果を出してきました。しかし、国際的にみたととき、子どもたちの自己肯定感の低さや、自分の生き方と学校での学びを関連付けて考える子どもの少なさも課題になっています。また、不登校の子どもや教室内で苦しむ子どもたちに歩み寄って、学校文化を問い直す動きも広がっています。

本講座は、様々な立場で学校教育をめぐる問題に向き合い、悩みを抱える子どもたちを支えている方々を講師にお招きし、「子どもたちが通いたくなる学校」を考え合う機会を提供するオンライン連続セミナーです。

**対象** 幼児教育や初等・中等教育の教職員、教育委員会関係者、  
教職大学院学生

\*定員に余裕がある場合は一般参加者の受講も可能です。

- Zoom ミーティングを使用し、オンラインで行います。  
Zoom や通信環境の設定はご自身でお願いします。
- 原則としてすべての回にご参加ください。

参加無料  
事前申込制  
【定員50名】

**1** 8月27日(金) 15:30~16:40  
「学校での生きづらさを感じる  
子どもたちの実態」

- ・信州大学教職支援センター教授 庄司 和史氏
- ・NPO 法人はぐまつ理事長・はぐルッポ代表 西森 尚己氏

**2** 9月24日(金) 15:30~16:40  
「不登校を経験した子どもからみた学校」

- ・生きづらさをつなげるフリーペーパー hanpo 編集長 草深 将雄氏
- ・ブルースカイ(登校拒否を考える親と子の会)代表 松田 恵子氏

**3** 10月22日(金) 15:30~16:40  
「すべての子どもに豊かな子ども期を」

- ・川中島の保健室主宰 白澤 章子氏
- ・長野県次世代サポート課 西村 智美氏

**4** 11月26日(金) 15:30~16:40  
「学校内外の子ども・若者の居場所」

- ・NPO 法人ぱーむぼいす理事長 池田 剛氏
- ・長野県松本筑摩高校スクールカウンセラー 上間 春江氏

**5** 12月17日(金) 15:30~16:40  
「子ども・親・教職員が  
それぞれの多様性を認める学校」

- ・浜松学院大学付属幼稚園親支援カウンセラー 中島 祐子氏
- ・元公立学校長 峯村 均氏

**6** 1月21日(金) 15:30~16:40  
「学校の先生には見えにくい子どもたち」

- ・NPO法人子ども・人権・エンパワメント CAP ながの理事長 矢島 宏美氏
- ・チャイルドラインながの事務局長 美谷島 恵子氏

**7** 2月4日(金) 15:30~16:40  
総括とリフレクション：参加者同士の分かち合い  
「子どもたちのために  
自分にできることは？」

- ・コーディネーター 信州大学教職大学院専攻長 伏木 久始氏

お申し込みはこちらから▶

2021年8月20日 〆切

Web申込サイト

<https://bit.ly/3cQmNKX>

